

サステナビリティ・ファイナンスの概要について

令和6年6月

あなたに、ベスト・ウェイ。



当社の概要および社会的・環境的課題の解決に向けた取組み

NEXCO

- 平成17年10月1日に日本道路公団の分割・民営化に伴い設立された全額政府出資の株式会社
- 高速道路事業を通じて、地域社会の発展と暮らしの向上を支えることを目的とする

商号	東日本高速道路株式会社（ブランドネーム：NEXCO(ネクスコ)東日本) East Nippon Expressway Company Limited
目的	高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を効率的に行うこと等により、道路交通の円滑化を図り、もって国民経済の健全な発展と国民生活の向上に寄与すること（高速道路株式会社法第1条）
設立年月日	平成17年10月1日
資本金	525億円

- 高速道路事業を活かして社会的・環境的課題の解決に取り組み、「地域をつなぎ、地域とつながる」を実現

地域活性化

- ✓ 地域を支え、地域とともに成長する

地域の産業振興・雇用拡大を目指し、高速道路ネットワークの整備に取り組んでいます



高速道路の新規建設

交通安全の確保

- ✓ お客様の安全を守る

24時間・365日、安全・安心・快適・便利な高速道路サービスを提供するために、各種対策や啓発活動に取り組んでいます



高速道路本線への合流部の逆走対策

気候変動への適応

- ✓ 大雪・大雨時もネットワーク機能を維持する

立ち往生や土砂災害による道路ネットワークの寸断を防ぐために、高速道路の4車線化に取り組んでいます



4車線化事業

災害対策

- ✓ 災害に強い高速道路をつくる

災害時の被害最小化と高速道路機能の早期回復を可能とするために、予防的保全に取り組んでいます



橋梁の耐震補強

環境保全

- ✓ 環境を守り、未来につなげる

地域の自然環境に優しい道づくりに加え、事業活動により生じるCO2排出量の削減や、再生可能エネルギーの活用に取り組んでいます



バイオマスガス化発電プラント

サステナビリティ・ファイナンス・フレームワークの概要

NEXCO

- サステナビリティ・ファイナンスとは、社会的・環境的課題を解決する事業に充当することを目的とした資金調達手段。
- 当社は、ICMA(国際資本市場協会)が定める原則の4つの核となる要素(下記1~4)を考慮し、以下のとおりサステナビリティ・ファイナンス・フレームワークを策定。本フレームワークの透明性を確保するために、第三者評価機関であるR&Iから外部評価を取得(2024年6月)。

1 調達資金の使途

- サステナビリティ・ファイナンスで調達した資金は、以下のプロジェクトに充当

適格プロジェクト	ソーシャルプロジェクト概要	SBP※の事業区分	対象となる人々
高速道路の新設・改築	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方圏の産業・観光投資を誘発する都市・地域づくりの推進 ・管内高速道路ネットワーク整備 ・管内4車線化の整備による高速道路機能強化 ・付加車線事業による円滑な交通確保 	手ごろな価格の基本的インフラ設備	一般の人々(災害発生時にはその中でも特に「自然災害の罹災者を含む弱者グループ」が対象)
高速道路の修繕・災害復旧	<ul style="list-style-type: none"> ● 切迫する巨大地震・津波や激甚化する気象災害へのリスク軽減 ・災害時の速やかな高速道路機能回復のための耐震補強推進 ・4車線化等によるリダンダンシーの強化 ● 交通安全の確保 ・逆走防止対策 ・暫定2車線区間の正面衝突事故防止対策(センターブロック等) ● 環境保全の推進 ・高速道路ネットワーク整備による渋滞緩和効果に基づくCO2抑制 ・設備の省エネルギー化、盛土のり面の樹木形成、森林資源の有効活用によるCO2削減 ・事業に伴うエネルギー・物質のリサイクル 		
高速道路の特定更新	<ul style="list-style-type: none"> ● インフラの老朽化対策 ・高速道路リニューアルプロジェクトの推進 		
適格プロジェクト	グリーンプロジェクト概要	GBP※の事業区分	
高速道路の新設・改築	<ul style="list-style-type: none"> ● 気候変動に適応した道路ネットワークの代替性確保 ・大雪時の積雪又は大雨によって発生した土砂災害による道路ネットワークの寸断を防止することを目的とした4車線化事業 		気候変動への適応

- 対象プロジェクトにおける具体的な路線名、工事内容や進捗状況等については機構との協定により決定されており、当社ウェブサイト等で確認可能

2 プロジェクトの評価と選定のプロセス

- 高速道路整備事業
 - 国が定める新規事業採択時評価実施要領に基づき、投資効率・費用対便益・事業の影響等の評価し、都道府県・政令指定都市や学識者等の意見を踏まえて事業採択
 - 事業採択後においても、国が定める評価要領に基づき、当社の設置する事業評価監視委員会にて再評価及び事後評価を実施し、事業の継続や中止、環境の影響を踏まえた必要措置等を判断
- 高速道路修繕事業
 - 道路法施行規則により5年に1回の頻度で目視による点検が義務付けられており、NEXCO3社(当社・中日本高速・西日本高速)による委員会での意思決定された点検実施基準等に基づく点検結果等を踏まえ、事業の評価・選定を実施

3 調達資金の管理

- 調達資金は、法令等に基づき道路管理事業やその他事業から区分された道路建設等事業に充当され、厳格に管理
- 調達資金の充当状況は、当社会計システムで管理。機構との協定に基づく収支予算の明細においても開示されており、年2回程度更新
- 調達資金は、原則調達年度内に対象プロジェクトに充当されるが、未充当資金は、社内規程に基づき1年以内の安全性の高い金融資産で運用










4 レポートニング

- 対象プロジェクトの進捗や資金充当状況は、当社及び機構ウェブサイトで公開。その他、当社業務全般や財務状況について、当社レポート等で公開

※SBP : Social Bond Principle (ソーシャルボンド原則)
GBP : Green Bond Principle (グリーンボンド原則)

サステナビリティ・ファイナンスによるSDGsへの貢献

- 当社グループは、国連が策定した「持続可能な開発目標(SDGs)」を支持し、高速道路事業を通じて社会的・環境的課題の解決を推進することで、世界の持続可能な発展を目指す。
- サステナビリティ・ファイナンス・フレームワークに基づいた資金調達は、「目標3：すべての人に健康と福祉を」、「目標8：働きがいも経済成長も」、「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11：住み続けられるまちづくりを」、「目標13：気候変動に具体的な対策を」の達成にも貢献。

 <p>8 働きがいも経済成長も</p>  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>老朽化対策や災害に対する高速道路インフラの信頼性の飛躍的向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 老朽化対策や本格的な予防保全の推進 ✓ 高速道路リニューアルプロジェクトの推進 ● 耐震対策による交通機能の迅速な回復 ✓ 耐震補強対策の加速化 <p>高速道路の整備・強化と4車線化の推進によるネットワーク機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 高速道路ネットワーク強化の検討及び整備の推進 ✓ 移動時間の短縮、企業立地の促進、物流の効率化等を目的とした高速道路ネットワークの整備推進 ✓ 時間信頼性の向上、交通事故による通行止めの減少や災害・大雪時の交通機能確保のための4車線化及び付加車線事業の実施 ● より使いやすい高速道路空間に向けたスマートIC・休憩施設の整備推進 ✓ スマートICの整備による地域産業の活性化・観光振興・救急医療への貢献・物流の効率化 	 <p>道路ネットワークの整備</p>  <p>リニューアルプロジェクトの推進</p>
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>安全・安心で自動運転等のイノベーションにも対応した快適な高速道路の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 事故対策による安全性の向上 ✓ 暫定2車線区間の正面衝突事故防止に向けた長大橋梁・トンネル区間におけるセンターブロック等の新技術の試行・検証 	 <p>センターブロックの設置</p>
 <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>環境保全の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ● CO2排出量の抑制・削減 ✓ 高速道路ネットワーク整備による渋滞緩和効果に基づくCO2抑制 ✓ トンネル内・道路上の照明を「LEDランプ」に変更、盛土のり面の樹木形成等によるCO2削減 ● 事業により排出された建設副産物・廃棄物を可能な限り再生資源としてリサイクル <p>気候変動に適応した道路ネットワークの代替性確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大雨によって発生した土砂災害又は大雪時の積雪による道路ネットワークの寸断を防止することを目的とした4車線化事業 	 <p>照明をLEDランプへ変更</p>